

略年譜

大正一一年（一九二二）

九月一日、兵庫県神戸市兵庫区にて父前田壽昌、母とみゑの三男として誕生。戸籍名は幸利。

昭和十年（一九三五）

三月二五日、京城公立東大門尋常小学校卒業。四月一日、京城公立男子高等小学校入学。

同二年（一九三七）

三月二十日、京城公立男子高等小学校卒業。

同 年

六月一八日、上田恵亮上人を師として得度。僧名は恵照。

同三年（一九三八）

三月十日、大本山本能寺に入寺昇堂。

同 年

三月一七日、僧籍登録。

同七年（一九四二）

三月二十日、法華宗興隆学林卒業。

同八年（一九四三）

一月十日、満州独立守備隊二七大隊に入営。

同二年（一九四六）

五月二五日、ニューギニア戦線より復員。

同二年（一九四七）

四月一日、立正大学専門部宗学科入学。

同五年（一九五〇）

七月二六日、大本山本能寺第百二十七世・藤井寺第二四世松井日宏上人の徒弟となる。僧名を泰明に改める。

同七年（一九五二）

三月二十日、立正大学仏教学部仏教学科卒業。中学校一級・高等学校二級教諭普通

免許状取得（倫理・社会）。五月一日より横浜市立西中学校に勤務。

同二八年（一九五三）三月三十一日、横浜市立西中学校を退職。同年四月一日、大阪市立豊崎中学校に勤務。

同二九年（一九五四）八月三十日、僧名を孝純に改める。十一月一日、法華宗興隆学林助教に就任。

同三二年（一九五七）三月十二日、無上道編集員に就任。

同三三年（一九五八）一月二十五日、京都唱玄院特命住職に就任。

同三五年（一九六〇）三月一六日、唱玄院特命住職を退任、京都信正寺特命住職に就任。

同三七年（一九六二）四月一日、法華宗興隆学林教授に就任。

同三八年（一九六三）六月一日、教学研究所所員に就任。

同四二年（一九六七）七月一日、宗門史編纂委員会委員に就任。

同四三年（一九六八）五月二二日、宗会議員に就任。

同 年 一二月一日、法華宗青年伝道隊運営委員に就任。伝道車献納運動と共に法華宗青年

伝道隊発足に尽力。

同四五年（一九七〇）三月三十一日、無上道編集員を退任。四月八日、信正寺特命住職を退任。豊中市東城

山藤井寺第二十五世住職に就任。

同五一年（一九七六）三月二六日、神戸感應寺兼務住職に就任。

同五二年（一九七七）四月十八日、法華宗青年伝道隊運営委員長に就任。五月一日、法華宗興隆学林学監、

教学審議会委員に就任。

同五三年（一九七八）二月一日、法華宗青年伝道隊顧問、宗門史編纂室長に就任。二月二二日、神戸感應

寺兼務住職を退任。

同五六年（一九八一）六月一日、法華宗全書刊行会編纂局編集局長に就任。

同五七年（一九八二）一月七日、法華宗全書刊行会編纂局編集局長を退任。

同年一月八日、第三百十代法華宗宗務総長「法華宗（本門流）代表役員」に就任。

同五九年（一九八四）九月一日、法華宗教化センター所長に就任。

平成元年（一九八九）三月三十一日、宗門史編纂室長を退任。

同二年（一九九〇）一月七日、宗務総長を退任。

同四年（一九九二）十月一日、教学研究所所長に就任。十一月五日、法華宗教化センター所長を退任。

同五年（一九九三）一月八日、宗宝・宗門史蹟審議会委員に就任。

同九年（一九九七）一月二日、大本山本興寺第三百三十世貫首に就任。大僧正に昇叙。

同十年（一九九八）九月三十日、法華宗教学研究所所長を退任、十月一日、同名譽所員に就任。

同十一年（一九九九）二月十三日、法華宗（本門流）第二百一二代管長に就任。

同一年大本山本興寺貫首を体調不良の為退任。

同十三年（二〇〇一）一月一二日、豊中市藤井寺住職を退任。

同十六年（二〇〇四）四月一日、法華宗審査局員に就任。

同二十年（二〇〇八）三月三十一日、法華宗審査局員を退任。十月二十五日、堺市顕本寺住職に就任。

同二十二年（二〇一〇）三月三十一日、堺市顕本寺住職を退任。

同二十三年（二〇一一）七月九日、遷化。法寿九十歳。